

地域づくりナビ 発信!



サポートしました!

「稲沢地区」 高御堂住宅 住みやすい地域を目指して座談会を開催! ～住んでいる地域に対して、何ができるだろう～

高御堂住宅区では、より住みやすい地域を目指して、住民同士話し合う座談会がスタートしました。

座談会のメンバーは、地区の民生委員や老人クラブ、高齢者ふれあいサロンなどの地域活動者や、座談会に関心をお持ちのかたなどが参加しています。

そこでは、住民ならではの視点で意見を出し合い、地域課題の解決に向けて、我が事として出来ることから取り組むことを意識して話し合っています。

今年8月には、取り組みの第一歩として、地域の情報を発信し、住民同士のつながりが深められるようにとの思いで、高御堂住宅情報紙「つながり」第1号を発行しました。その後、情報紙をご覧になったかたが、掲載された地域の集いの場に初めて参加されるなどの反響がありました。

今後も住民同士の関わりが増え、より住みやすい地区となるよう活動を継続していきます。



↑ 座談会の様子



↑ 地区担当と座談会メンバー

「小正地区」 『防災フェス』開催 ～南海トラフ地震 7日間を生き延びよう～

小正まちづくり推進協議会では、平成29年度から減災事業に取り組んでいます。令和6年度末、減災委員会は「できないことに頭を抱えるのではなく、自分たちがやれそうなことを自由に考えてみよう!」と地域内の減災の課題を個々に考える『減災プロジェクト作戦』を開始し、区長経験者や民生委員、防災士や建築士など地域で暮らすメンバーが次々に集まりました。

■プロジェクトAチーム 『避難場所』(2/17～6/20)

各避難場所のメリット、デメリットをまとめ、小正防災だより第4号として地区内全家庭に配布しました。

■プロジェクトBチーム 『防災フェス』(7/11～10/26)

自分で自分の身を守り、公助が届くまでの間生き延びるための術を学ぶ講習会や、文化の丘公園にあるかまどベンチやマンホールトイレなどの災害用設備の紹介などが行われるそうです。



『防災フェス』 どなたでも参加できます。是非ご参加を。

日時 10月26日(日)9:00～開場、9:15～開演 11:40終了予定
会場 名古屋文理大学文化フォーラム 小ホール 参加費用 無料
申し込み 不要 先着100名には記念品がいただけます。

■今後の『減災プロジェクト活動』

地域のかたの災害直接死・関連死を減らすため、我が事として減災について考え、今後もプロジェクトC、プロジェクトD…と続けて行くそうです。引き続き情報提供などサポートを行っていきます。